

つくしSTジャーナル

三重つくし診療所リハビリセンター

文責：言語聴覚士 一ノ木佳奈



『つくしSTジャーナル』を始めます！

三重つくし診療所リハビリセンター言語聴覚士の一ノ木佳奈です。

2022年3月から、当事業所に入職し、ご自宅や施設で言語の訪問リハビリをさせていただいております。

また、このたび、訪問リハビリ業務と並行して、「つくしSTジャーナル」のタイトルで、お便りを発行させていただくことにいたしました。

不定期にはなりますが、言語の訪問リハビリについてを中心に、皆さまに当事業所について、より知っていただけるような内容にしていきたいと思っております。

ぜひご一読いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

センター長からのご挨拶

地域の方々に支えられ、平成30年4月の開設から今年で5年目となりました。今年度は初めて言語聴覚士が仲間に加わり、理学療法士、作業療法士と共に訪問リハビリを提供できる体制が整いました。

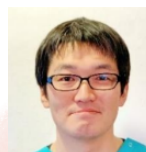
様々なご要望やニーズに応え、多くの方に安心・信頼してご利用いただける事業所を目指し、日々努力し続けていきたいと思っております。

これからもよろしくお願いいたします。



津市議会議員
三重つくし診療所リハビリセンター
センター長
認定理学療法士（地域理学療法）
中田 耕平

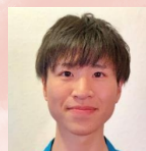
スタッフ紹介



澤田 智司
認定理学療法士（地域理学療法）
平成22年免許取得



原田 大輝
作業療法士
平成24年免許取得



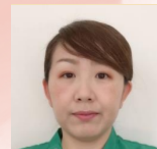
村田 怜
作業療法士
平成30年免許取得



鵜飼 麻理奈
理学療法士
平成28年免許取得



河北 悠加
理学療法士
平成22年免許取得



一ノ木 佳奈
言語聴覚士
平成18年免許取得

言語聴覚士の訪問リハビリって？

言語聴覚士とは

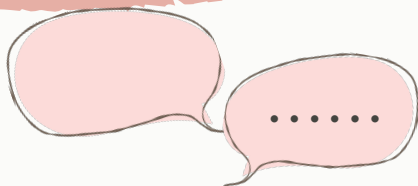
- ▶ コミュニケーション能力の障害（言語障害、聴覚障害、吃音など）
- ▶ 高次脳機能障害（注意力、記憶、判断力などの低下）
- ▶ 嚥下障害（食べることに関する機能の低下）

等に対するリハビリを行う国家資格です。

言語聴覚士は Speech Therapist の略称でSTと呼ばれています。



言いたいことがうまく言葉にならない、
相手の言っていることへの理解が難しい**失語症**の方



失語症による発語の障害、理解障害、書字障害など
に対するリハビリを行います。

また、ご家族に対してコミュニケーション方法の
指導をさせていただきます。

呂律が回りづらい、声が出しづらいなどの
構音障害、音声障害の方



舌や唇のトレーニング、発声練習や呼吸練習
などのリハビリを行います。

難病の方に対するコミュニケーションツールの
指導を行います。

飲み込みにくい、むせやすいなどの
嚥下障害の方



飲み込みの機能を確認し、誤嚥を防ぐリハビリを
行います。

また、食材の適切な大きさや調理方法、安全な食事
姿勢についての指導を行います。

集中力や記憶力の低下など、
高次脳機能障害の方



注意訓練や記憶訓練、遂行機能訓練など、高次
脳機能にかかわるリハビリを行います。

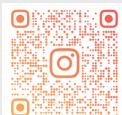
復職を目指す方のリハビリも対応させていた
だきます。

当事業所の言語聴覚士の訪問リハビリでは、上
記の症状でお困りの方に対し、ご自宅や施設で
リハビリをさせていただきます。
お気軽にお問い合わせください。

言語聴覚士 一ノ木 佳奈



Instagram
@st.1_mie_p5



株式会社 P5
三重つくし診療所リハビリセンター

☎ 080-6910-8620 📠 059-235-2090

✉ p5.k.nakada@gmail.com



<https://p5-inc.jimdofree.com/>



Instagram
@p5_inc.official

